

〔第2回会議での主な意見〕

余白や色に関する意見

- 余白を多くして矢印の行く先を解りやすくできないか
- 2色刷りなどにできないか

調査票の分割に関する意見

- 調査票を分割して、より多くの人に配布できないか
- 仕事をしている人、していない人などで調査票を分けられないか

設問の簡素化に関する意見

- 簡潔にできないか
- 設問に優先順位をつけて簡単にできないか

未来志向の設問に関する意見

- 未来計画として子どもを増やす観点の設問が設けられないか

仕事と子育てに関する意見

- 問30以降は必須ではなく省略可能ではないか

〔対応方針〕

- ページ数を4ページ増加し、余裕があるレイアウトを提案します。

- 全体の分割は、世帯としての分析が出来なくなります。
- また、就業状況による分割は、「共働き用」、「共働き以外用」の分割が出来ますが、問12の選択肢⑤、⑥が削除されるだけで、全体のボリューム減に繋がりません。また、無作為抽出の際に就業状況が分からないため、想定される2通の調査票を封入する必要があります。

- 以上より、調査票の分割ではなく、設問の簡素化を中心とした修正案を提案します。

- 希望する子どもの数に関する設問の追加を提案します。

- 社会全体での取り組みが求められている課題であり、代替調査の予定もないことから、今回の設問として設定することを提案します。

調査票修正案(簡素化)の基本的な考え方

- 量の見込みの推計上必要な項目、施策立案に必要な項目、その他分析上必要となる項目を中心に、調査票の設計を行います。
- 省略候補となる項目は次のような考え方で整理しました。
 - ①回答者数が限られ、地区別の分析が困難と想定される項目
⇒付問(特に、付問の付問は省略対象)
 - ②現状を把握することが主目的で施策に繋がりにくい項目
 - ③市の方針が定まっているもの

(今回提案する省略案)

調査票項目		省略理由
問 9-1	祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況	現状を把握することが主目的で施策に繋がりにくいいため。
問 9-2	友人・知人にお子さんをみてもらっている状況	
問 12-(1)-1	1週間の「就労日数」、1日の就業時間	選択肢の幅が広く施策に繋がりにくいいため。
問 12-(1)-2	家を出る時刻と帰宅時刻	
問 12-(2)-1	1週間の「就労日数」、1日の終了時間	佐世保市の方針として専門的立場である小児科にお願いするため。
問 12-(2)-2	家を出る時刻と帰宅時刻	
問 19	事業の認知度、今後利用したいもの	付問の付問のため、回答者が限定的で、分析が困難と想定されるため。
問 22-3	病児・病後児を預ける場合の形態	
問 22-4	問 22-2 で利用したいと思わない理由	現状を把握することが主目的で施策に繋がりにくいいため。
問 22-5	問 22-1 で「できれば」・・・の思ったか	
問 22-6	問 22-5 の理由	
問 25-1	泊りがけで家族以外に看てもらう困難度	